令和二年 百周年記念公演

林定期能

第三回

||| 場　所 |||

京都観世会館

||| 日　時 |||

令和二年 六月七日（日）

十一時五十分開場／十二時半始

||| 演　目 |||

能　屋島　河村浩太郎

狂言　口真似　茂山千五郎

能　西行桜　河村晴久

能　殺生石　河村紀仁

惜しむは名のため
惜しまぬは一命なれば

HAYASHI TEIKI NOH

後援　京都市教育委員会　主催　林定期能楽会　http://hayashiteikinoh.com

林定期能とは

「能」は美しい言葉と所作と舞によって進行する「幽玄」の世界。

室町時代、観阿弥・世阿弥らにより大成された能は、現在では五流派が存在しており、林家はそのうちの観世流の家になります。また、江戸時代より京都にて謡や能を伝えてきた「京観世五軒家」と呼ばれる家で唯一現存している家でもあります。

「林定期能」は林家とその同門により大正時代より始まった年間の定期公演で、令和二年、創立百年を迎えます。

幼少より訓練してきた能楽師たちの無駄を削ぎ落とした所作、装束・能面などにみられる芸術的な美、日本で育まれてきた調べ、人間の内面に深く踏み込むストーリー。

この「能」を是非、京都観世会館にて体験してみてください。

※能はユネスコ無形文化遺産に認定されています。

林定期能のご案内
INFORMATION

チケット料金と購入方法 / お問合せ

全館自由席。
[林定期能申込み]氏名・ご連絡先・公演日・チケット券種と枚数をお伝えください。

一般	前売	4,000円
	当日	4,500円
学生（学生証提示）		2,000円
トワイライトチケット（要予約）		2,000円

■林定期能楽会　電話 075-751-8158
FAX 075-751-8167

■ホームページ
「林定期能」にて検索→希望の公演を選ぶ→チケット予約をクリック
http://hayashiteikinoh.com

■京都観世会館　電話 075-771-6114

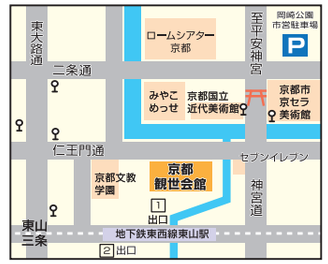
■各出演者へお問合せ

※チケットは公演当日、受付にて代金と引き換えにてお渡し致します。（現金のみ）
※トワイライトチケットは最終演目のみの観能チケットになっております。詳細はHPにてご確認頂きますようお願い致します。
※未就学児はお一人様まで無料、二人目以降は1,000円のお座席料がかかります。
※当日のチケット予約は、京都観世会館への電話予約のみとなっております。
※場内での録音、撮影および時計、携帯電話等のアラームはご遠慮ください。
※他のお客様の観能に妨げとなると判断した場合は、退席をお願いする場合がございます。

交通アクセス

京都観世会館　京都市左京区岡崎円勝寺町44

【交通アクセス】
●市バス5番、100番「岡崎公園 美術館・平安神宮前」、平安神宮大鳥居より南西に徒歩5分。
市バス31番、46番、201番、203番[東山仁王門]下車、東へ徒歩5分。
●地下鉄東西線「東山駅」下車、北に徒歩5分。
※駐車場あり（有料駐車場20台程度）



表面写真 / 能《屋島》狂言《口真似》上杉遥　能《西行桜》《殺生石》金の星写真場　中面写真／Stéphane Barbery

令和二年 百周年記念公演

林定期 能

第三回

日時
令和二年 六月七日(日)
十一時五十分開場／十二時半始

12:50

（解 説）
本日の演目について　河村 晴道

（ 能 ）

屋島

シテ（漁翁 後に 源義経の霊） 河村浩太郎
ツレ（漁師） 樹下 千慧
ワキ（旅僧） 小林 努
（所の者） 井口 竜也
間
（後見） 分林 道治
河村 和重

（狂 言）

口真似

シテ（太郎冠者） 茂山千五郎
アド（主人） 丸石やすし
アド（客人） 網谷 正美
（後見） 井口 竜也

――― 休 憩 二 十 分 ―――

15:00

（ 能 ）

西行桜

シテ（老桜の精） 河村 晴久
ワキツレ（花見の男） 森本 幸治
ワキ（西行法師） 福王 知登
ワキツレ（花見の男） 中村 宜成
ワキツレ（花見の男） 是川 正彦
（西行に仕える者） 茂山 茂
間
（後見） 河村 和晃
浦田 保浩
大鼓 山本 哲也
小鼓 曽和 鼓堂
太鼓 前川 光長
笛 森田 保美
（地謡） 國永 典子
浦田 親良
樹下 千慧
松野 浩行
分林 道治
河村 和重
林 宗一郎
河村 晴道

――― 休 憩 十 五 分 ―――

（仕 舞）

班女 アト 浦田 保浩
鼓 林 宗一郎

（ 能 ）

17:00

殺生石

シテ（里女 後に 野干） 河村 紀仁
ワキ（玄翁） 村山 弘
（能力） 山下 守之
間
（後見） 田茂井廣道
林 宗一郎
大鼓 谷口 正壽
小鼓 吉阪 一郎
笛 杉 市和
（地謡） 河村 紀仁
浦田 親良
大江 広祐
河村 和晃
河村 和貴
河村 晴道
田茂井廣道
味方 團
樹下 千慧
味方 團
河村 和重
河村浩太郎
國永 典子
田茂井廣和
河村浩太郎
大江 広祐
松野 浩行
河村 晴久
河村 和貴
味方 團

附祝言

午後六時過ぎ 終了予定

※時間はおよその目安を示しています。
※都合により出演者および演目等の変更の節はご容赦ください。

能

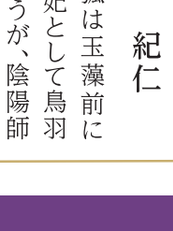
屋島 あらすじ

シテ 河村浩太郎

春の屋島。塩屋の主の老人は、夜もすがら都僧に戦物語りをする。源義経の化身であった老人は、真の姿で再び現れ、弓流しの有様を語り、死後も戦い続ける姿を見せる。戦のために生を得た義経の宿命の悲しさと、修羅道の苦しみを描く世阿弥のヒューマンドラマ。

能

西行桜 あらすじ



シテ 河村 晴久

世を捨て、西山に庵を結ぶ西行は、俗を持ち込む花見客達の頓しさを、桜の罪に転嫁する。その夜、西行の夢に現れた老桜の精は、西行の心を解き、都の花盛りを愛で、閑雅に舞う。「得難きは時」と、最期の花を咲かせる老桜が、時の輝きを描く。

能

殺生石 あらすじ

シテ 河村 紀仁

九尾の妖狐は玉藻前に化生し、寵妃として鳥羽帝の命を狙うが、陰陽師に見破られ、那須野で討たれて殺生石という恐ろしい執心の石となっている。道人玄翁は法力でこの執心を打破し、魂を救う。初心の方にも分かり易い鬼能。